

夏瀬の森

だより

令和六年十月二十五日 第一〇五号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

快晴の秋祭り

十月十一日、今年も快晴の下で秋祭りを務めさせていただきました。ことができまいた。献幣使（けんぺいし）として藤岡昌秀様（ふじおか しょうしゅう）が参列くださり、御霊神（ごりょうじん）社宮井宮司（みやいのみやうじ）、藤並神社堀宮司（ふじなみのみやうじ）には助祭として神事を助けていただき、厳粛な雰囲気（きんぷい）の神事（かみごと）を行うことができました。森勲責任役員（もりさとし）さんには祭文（まつひ）を奏上（そうじょう）していただき、氏神様（うぢがみさま）に日頃（ひごら）の感謝（かんしゃ）とこれからの田殿（でん）の郷（きょう）の平穩（へいげん）と繁栄（はんえい）を祈（いの）りました。



午後からの神賑行事〜お渡り〜

今年（ことし）の一番（いちばん）字（じ）は船坂区（ふねざか）の約五（ご）十軒（じゅうけん）の規模（きぼ）で、一番（いちばん）字（じ）は大変（たいへん）なご苦労（ごくろう）があったことだと思（おも）います。選手（せんしゅ）皆さん（みなさん）方は（は）もちろん（もちろん）ですが、事前（じきん）の準備（じゅんび）からお祭り（まつり）後の総括（そうくわく）まで、全戸（ぜんこ）総出（そうしゅつ）でのご奉仕（ほうじ）により、見事（みごと）な芸（げい）の奉納（ほうな）をしてくださいました。



工夫を凝らした六台の山車

クリーパー（クリーパー）、大谷翔平（おおや しょうへい）、マンモス（マンモス）、鯉（こい）の滝登り（たきのぼり）、ネコバス（ネコバス）、おぼんちゅう（おぼんちゅう）さぎ（さぎ）、ちいかわ（ちいかわ）。いくつご存（ぞん）じですか（ですか）。子ども（こども）も私たち（わたしたち）は大（だい）喜び（よろこび）で山車（やまぐるま）の周り（まわり）ではしゃい（しゃい）でいました（いました）。もちろん（もちろん）笛太鼓（ふえたいこ）の

素晴らしい音色（ねいしき）にも魅（め）せられました（られました）。太鼓（たいこ）も、八月（はちがつ）末（すえ）から（から）放課（はなつら）後（ご）に青木（あおき）茂（しげる）さん（さん）の指導（しうどう）の下（した）で、今年（ことし）は二十（にじゅう）七（しち）名（な）の子（こ）ども（ども）も頑（がん）張（が）って（って）くれました（くれました）。色（いろ）々な（んな）人（ひと）に（に）見（み）ても（ても）拍（はく）手（て）を（を）受（う）けて（て）い（い）ま（ま）し（し）た（た）。下（した）の（の）宮（みや）に（に）は（は）か（か）つ（つ）て（て）子（こ）ども（ども）も（も）太（たい）鼓（こ）を（を）奉（ほう）納（な）し（し）て（て）く（く）れ（れ）た（た）中（ちゆう）学（がく）生（せい）や（や）高（こう）校（がう）生（せい）も（も）駆（か）け（け）つ（つ）て（て）く（く）れ（れ）て（て）、ブ（ぶ）ラン（らん）ク（く）を（を）感（かん）じ（じ）さ（さ）せ（せ）ない（ない）太（たい）鼓（こ）を（を）披（ひ）露（ろ）して（して）く（く）れ（れ）ま（ま）し（し）た（た）。卒業（そつぎやく）生（せい）が（が）来（き）て（て）く（く）れ（れ）た（た）こと（こと）には（は）師（し）匠（じゆう）お（お）ふ（ふ）た（た）方（かた）と（と）一（いっ）緒（じょ）に（に）感（かん）激（げき）して（して）、し（し）ば（ば）ら（ら）く（く）太（たい）鼓（こ）に（に）見（み）入（い）っ（つ）て（て）い（い）ま（ま）し（し）た（た）。



美しい夕日の中で

最後（さいご）は餅（もち）投げ（なげ）と、山車（やまぐるま）の（の）一（いっ）斉（せい）披（ひ）露（ろ）。餅（もち）を（を）奉（ほう）納（な）し（し）て（て）く（く）だ（だ）さ（さ）り（り）、区（く）長（ちやう）会（かい）様（さま）も（も）協（きょう）賛（さん）し（し）て（て）く（く）だ（だ）さ（さ）り（り）ました（ました）。「田（でん）殿（でん）で（で）こ（こ）れ（れ）だ（だ）け（け）の（の）数（かず）の（の）人（ひと）を（を）見（み）る（る）の（の）は（は）そ（そ）う（う）な（な）い（い）で（で）「と（と）言（い）い（い）な（な）が（が）ら（ら）「こ（こ）っ（つ）ち（ち）こ（こ）っ（つ）ち（ち）」と（と）叫（こゝろ）ぶ（ぶ）た（た）く（く）さ（さ）ん（さん）の（の）人（ひと）が（が）熱（あつ）中（ちゆう）し（し）て（て）く（く）れ（れ）ま（ま）し（し）た（た）。そ（そ）し（し）て（て）、澄（あ）ら（ら）い（い）夕（ゆふ）日（ひ）の（の）中（ちゆう）で（で）、山（やま）車（ぐるま）の（の）響（ひび）き（き）渡（わた）り（り）、今（いま）年（ねん）の（の）秋（あき）祭（まつり）は（は）幕（まく）を（を）閉（し）じ（じ）ま（ま）し（し）た（た）。今（いま）年（ねん）も（も）心（こゝろ）か（か）ら（ら）の（の）ご（ご）奉（ほう）仕（し）、あ（あ）り（り）ま（ま）し（し）た（た）。と（と）う（う）ご（ご）ざ（ざ）い（い）ま（ま）し（し）た（た）。



芸能保存会よりお礼申し上げます

本年の秋祭りを盛り上げてくださったや山車に對して、皆様方から大きなご声援並びに各方面よりご祝儀をいただきましたこと、田殿丹生神社芸能保存会よりこの場をお借りいたしましたしてお礼申し上げます。ありがとうございますございました。



来年は長田区（一番字）

三面の責任区（一番字）の順番は今年から五巡目になりました。来年は長田区が一番字となります。その後は角・田口・上中島・井口・出・尾中・大谷・賢の順となりますが、田殿地区全体が責任区に協力すること、今年も区長会・総代会で確認してくださいました。人口の減少、子どもの激減の中で三面や山車の継承。大きな課題がいくつもありますが、田殿の宝を守るためにもいろいろなかから、いろいろな方のお知恵とお力をいただきたく、よろしくお願いいたします。す。



秋祭りと言えば

和歌山の「なれずし」は日本三大なれずしの一つで、八〇〇年以上の歴史があると言われている。秋祭りにはぜひ食したい有田の食文化です。今年も無事に出来上がり、お祭りの後の直会（なおいらい・お供えをいただき神様に近づく大切な行事）の席で、お祭り前に仕込んだ白酒（どぶろくの手前）とともに。



敬神婦人会のお力なければ：

十月五日早朝より敬神婦人会の理事さん方が境内や社殿、参集殿の大掃除をしてくださいました。今年の猛暑の異常さを証明するよう、桜やケヤキの落葉が尋常ではなく、たいへんご苦労をおかけしましたが、お陰様で清々しい雰囲気の中で秋祭りを挙行することができました。これからさらに落ち葉の季節です。どうかお助け下さいますようお願いいたします。

しめ縄づくり〜新わらの香り〜

十月一日、総代さん方がしめ縄づくりのご奉仕をしてくださいました。天日で干した香り高い新わらをきれいに整えて、大小二十五本のしめ縄を作り上げてくださいました。年末に総代さん方の手で掛けかえてくださいます。



神宮大麻をおまつり下さい

十月二十七日、和歌山県神社庁有田支部の神宮大麻頒布始奉告祭が顯國神社にて行われました。新年には伊勢神宮のお神札（おふだ）「神宮大麻」を田殿丹生神社のお神札とともにお届けさせていただきます。「神宮大麻」は伊勢神宮の日本をお守りくださる天照大御神さまのお神札です。私たちをお守りくださる氏神様のお神札とともにおまつりください。

七五三詣 お子様のご成長を感謝

七五三は三歳の「髪置」五歳の「袴着」七歳の「帯解」に由来し、秋の収穫の後に子どものご成長をお祝いし、氏神様に感謝をしたのが現在に至っています。田殿丹生神社ではお守りや千歳飴、お土産を用意し、皆さんのご参拝をお待ちしています。ご祈祷につきまちはご希望の日時をご予約下さい。お待ちしております。

ホームページへもお越し下さい

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~taidononjiniya/>

